

(10) 腹部超音波健診

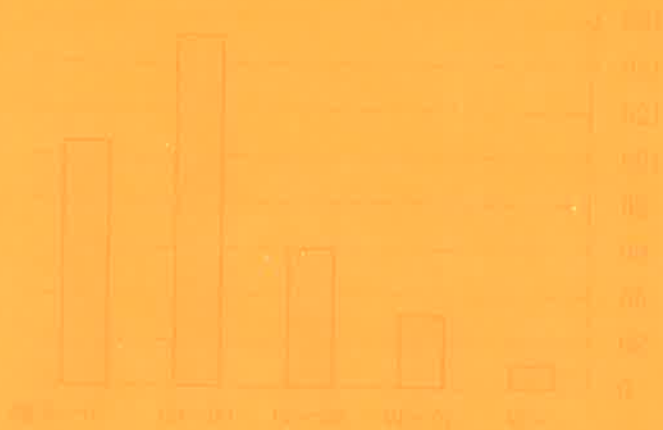
腹部超音波健診概要

年齢階層別実施状況 (所見別・判定別)

検査項目	所見別	判定別	実施状況
精密検査	異常	異常	実施済

精密検査受診成績 (年齢階層別)

異常所見受診率割合 (%) 表



異常所見異常判定受診率 (%) 表



精密検査受診率 (%) 表

検査項目	精密検査	判定別	精密検査	受診率 (%)
異常所見	異常所見	異常判定	異常判定	受診率 (%)
20代	65	15	15	65
30代	15	15	15	15
40代	85	15	15	85
50代	45	15	15	45
60代	15	15	15	15

腹部超音波健診概要

今年度は2村から住民健診の依頼があり359名の受診者に実施した。

年間の実施日数は13日であり、1日当たり平均27.6人を検査した(表1)。

受診者総数359人を男女別でみると、男性131人(36.5%)、女性228人(63.5%)であった(図1)。

年齢階層別では、60代152人(42.3%)、70代以上106人(29.5%)、50代60人(16.7%)、40代31人(8.6%)の順となっている(図2)。

健診結果の指導区分は、要精密検査32人(8.9%)、要経過観察156人(43.5%)、異常所見なし171人(47.6%)。男女別での要精検率は女性が8.3%、男性が9.9%と男性が高く、要経過観察率も女性が40.8%で男性が7.3ポイント高かった(表2)(図3)。

総合健診センター

表1 受診者数

	予定数	受診者数	実施率(%)	実施日数	一日当たり実施数
出張健診	250	359	143.6	13	27.6

図1 受診者数(男女別)

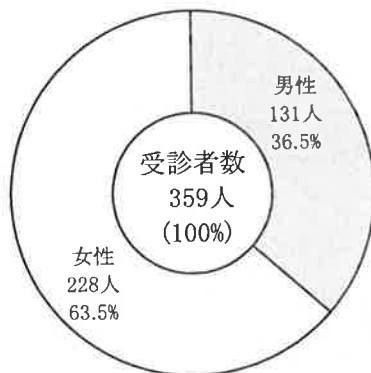


図2 年齢階層別受診状況

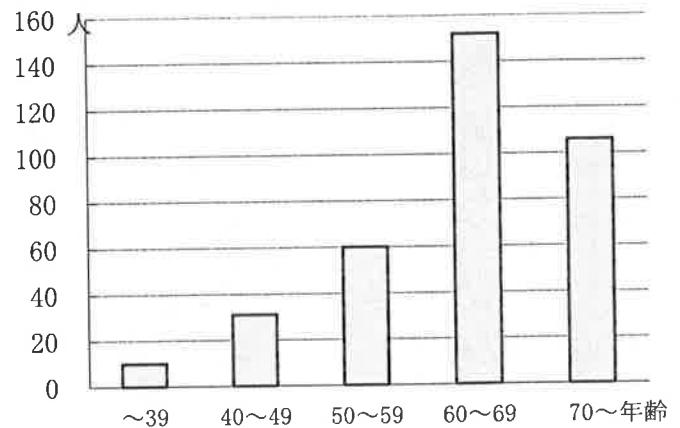


表2 男女別受診者数

	男性			女性			合計		
	受診者数	要経過観察率(%)	要精密検査率(%)	受診者数	要経過観察率(%)	要精密検査率(%)	受診者数	要経過観察率(%)	要精密検査率(%)
出張健診	131	63 (48.1)	13 (9.9)	228	93 (40.8)	19 (8.3)	359	156 (43.5)	32 (8.9)

検査結果は「要経過観察」と「要精密検査」で受診者の52.4%を占め、有所見別延べ数の対受診者割合は腎嚢胞17.0%、脂肪肝12.5%、肝嚢胞10.3%、胆嚢ポリープ12.3%、胆嚢結石症4.5%、肝内石灰化3.1%などであった(表3)。

図3 指導区分

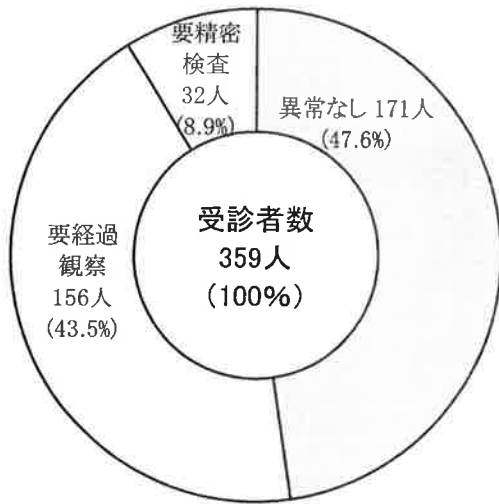


表3 有所見別割合

所見	有所見延数	対受診者割合 (%)
腎嚢胞	61	17.0%
脂肪肝	45	12.5%
肝嚢胞	37	10.3%
胆嚢ポリープ	44	12.3%
胆嚢結石症	16	4.5%
肝内石灰化	11	3.1%
腎結石症	3	0.8%
腎石灰化	9	2.5%
肝血管腫	4	1.1%
肝腫瘍	2	0.6%
胆嚢腺筋症	5	1.4%
膵嚢胞	2	0.6%
その他	18	5.0%

<精検受診状況>

要精密検査者32人のうち精検受診者は24人(75.0%)で、男女別の精検受診率は、男性の76.9%に対し女性は73.7%と、男性が3.2ポイント高かった(表4)(図4)。

精検受診者の主な発見疾患は、胆管細胞がん 1件(0.3%)、胆のう結石症10件(2.8%)、胆のうポリープ 3件(0.8%)、膵嚢胞 2件(0.6%)、肝血管腫 2件(0.6%)などの診断であった(表5)。

表4 精検受診状況(男女別)

	男性			女性			合計		
	受診者数	要精検者数率 (%)	精検受診者率 (%)	受診者数	要精検者数率 (%)	精検受診者率 (%)	受診者数	要精検者数率 (%)	精検受診者率 (%)
出張健診	131	13 (9.9)	10 (76.9)	228	19 (8.3)	14 (73.7)	359	32 (8.9)	24 (75.0)

図4 精検受診状況

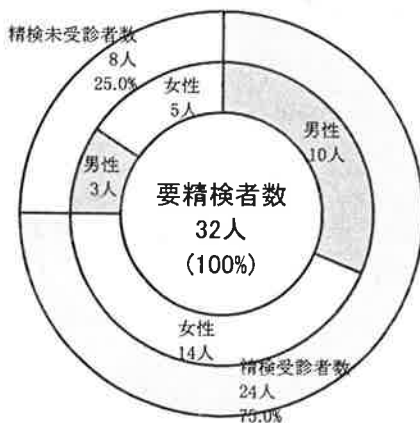


表5 有所見別割合

所見	有所見延数	対受診者割合 (%)
胆管細胞がん	1	0.3%
胆嚢結石症	10	2.8%
胆嚢ポリープ	3	0.8%
膵嚢胞	2	0.6%
肝血管腫	2	0.6%
腹部大動脈瘤	2	0.6%
腎嚢胞	1	0.3%
腎腫瘍	1	0.3%
その他	5	1.4%

年齢階層別実施状況

(所見別)

(複数の所見が有る者がいるため所見の延べ数としている)

所見別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	
肝	脂肪肝		1	4	7	27	5	1	45
	肝のう胞			2	6	16	9	4	37
	肝内石灰化				3	3	3	2	11
	肝血管腫					2	2		4
	肝腫瘍					1	1		2
胆道系	胆のうポリープ		1	3	7	18	12	3	44
	胆のう結石症			1	2	10	2	1	16
	胆のう腺筋症			2		2	1		5
	胆管拡張					1	1		2
	胆泥							1	1
	胆のう壁肥厚					1			1
	胆のう腫瘍				1				1
	計		1	6	10	32	16	5	70
膵臓	膵のう胞						1	1	2
	膵腫瘍						1		1
	膵描出不良				1				1
	計				1		2	1	4
腎臓	腎のう胞			1	3	20	27	10	61
	腎石灰化				1	6	2		9
	腎結石					2	1		3
	腎腫瘍							1	1
	腎その他					1			1
	計			1	4	29	30	11	75
脾臓	副脾			1		3	1		5
	計			1		3	1		5
その他	腹部大動脈瘤					2	1		3
	リンパ節腫大					1			1
計					3	1		4	
合計			2	14	31	116	70	24	257

(判定別)

指導区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
異常所見なし		8	20	35	66	34	8	171
要経過観察		2	10	23	70	36	15	156
要精密検査			1	2	16	10	3	32
計		10	31	60	152	80	26	359
要精検率(%)			3.2%	3.3%	10.5%	12.5%	11.5%	8.9%

精密検査受診成績（年齢階層別）

（複数の診断が有る者がいるため診断の延べ数としている）

	診断別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
肝	胆管細胞がん					1			1
	肝血管腫					1	1		2
臓									
	計					2	1		3

胆道系	胆のう結石症			1	1	7		1	10
	胆のうポリープ					2	1		3
	慢性胆のう炎						1		1
	胆泥							1	1
	胆管拡張					1			1
	胆管結石症							1	1
	胆道その他							1	1
計			1	1	10	4	2	18	

膵臓	膵のう胞						2		2
計							2		2

腎臓	腎のう胞						1		1
	腎腫瘍							1	1
計							1	1	2

脾臓 その他	腹部大動脈瘤					1	1		2
計						1	1		2

異常所見なし

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
要精検者数			1	2	16	10	3	32
精検受診者数			1	1	11	8	3	24
精検受診率(%)			100.0%	50.0%	68.8%	80.0%	100.0%	75.0%

年度別健診推移

年度	受診者数	有所見者数	率(%)	要精検者数	率(%)	精検受診者数	率(%)
平成26年度	287	128	(44.6)	33	(11.5)	23	(69.7)
平成27年度	237	138	(58.2)	30	(12.7)	18	(60.0)
平成28年度	359	188	(52.4)	32	(8.9)	24	(75.0)